

アスパラガス栽培に奮闘中
 いろいろな野菜づくりにチャレンジ
 していきたいです。



豊田 邦央 さん
 【更科・18歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。
 今回は、県内の高校を卒業後、4月から農業生産法人で働いている豊田邦央さんに、お話しをうかがいました。

◆ どのような仕事をされていますか？

野菜の生産をしています。4月はハウス内で栽培したアスパラガスの収穫作業と選別作業を任されています。収穫は一本一本鎌を使って行います。まだ仕事に慣れないので、選別作業は出荷規格表を見ながら慎重に行っています。特に、アスパラガスに傷を付けないよう気を遣っています。秋から冬に掛けてはエノキ茸生産を行います。

◆ 今の仕事を選んだ理由は何ですか？

高校で学んだことを仕事に生かしたかったこと、野菜の栽培に関心があったからです。

◆ 休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか？

最近、普通自動車免許を取ったので、ドライブをしています。



機会があれば、海の見える海岸線を走ってみたいです。また、気分転換にマンガ本を読むのが好きです。

◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか？

自然に囲まれていて、川のせせらぎや鳥のさえずりなどが聞こえて、とても気持ち落ち着くところです。

◆ 今後の抱負をお願いします。

まだ、学生気分が抜けきれませんが、同期の仲間とコミュニケーションをとりながら、一生懸命頑張っていきたいと思っています。また、いろいろな野菜づくりにチャレンジしていきたいです。

広報クイズ

■今月のプレゼント
 月の兔ピンバッジ
 ……5名

問題

中野シヨンシヨン
 まつりの開催日は、
 「●月●日」です。



クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、口ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
 締め切り 5月24日(月)必着
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 中野市三好町一丁目
 3番19号
 中野市役所
 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・
 電話番号
 切手

継承

中野が誇る伝統文化

第24回 上今井伶人会

上今井伶人会とは

明和6年、神楽殿が竣工された際に奉納されたことが始めと伝えられている上今井諏訪社太々神楽。毎年4月20日前後の日曜日に開催される春祭りに五穀豊穡を願って奉納されるこの舞は、出雲系の『大和舞』と明治初頭に岡山県で発祥した『吉備楽』という2種類の舞が伝承されている点特徴で、昭和48年、旧豊田村で無形文化財に指定されました。

上今井伶人会とは、この伝統神楽を正しく後世に伝えていくため大正15年に発足した保存団体で、会長は神田茂一さん。伶人会には、大人が11人、子ども(女兒)が7人、計18人が所属しています。現在、同会には囃子で舞う大和舞の11座、歌詞に



▲悪鬼をはらう舞「扁舞」

合わせて舞う吉備楽の5座に、昭和15年に創られた浦安の舞を加えた計17座を伝承し、その中から10座ほどを毎年春祭りで奉納しています。会員には報酬がなく衣装代などは自己負担ですが、子どもに伝統ある舞を教えようと、入会を希望する親も少なくありません。また、要請があれば、飯山市などに神楽奉納に出向くこともあります。

◆ 上今井諏訪社太々神楽の魅力とは

特に、稚児(小学生の女子)4人で舞う「田植えの舞」は、タスキをかけて、歌詞に合わせて田植え動作を行う舞ですが、吉備楽とも大和舞とも異なり、他地区にはない郷土色豊かな舞として注目されています。100年以上前に奉納された笛や太鼓などの楽器が、今も形を変えず大切に保存されており、また、地域住民が一つにまとまっているということが何より魅力的です。

◆ 皆さんへのメッセージ

祖先が大切に守り続けてきた伝統文化を継承している上今井伶人会。来年はぜひ上今井の春祭りにお出かけいただけたらと思います。

保育士になりたい



日野小学校 5年
 町田 祥穂さん

私の夢は、保育士さんになる事です。
 私は、小さい子と遊んだりするのが大好きで、いっしょにいて、とても楽しいからです。

また、私のお母さんが保育士さんで、絵本や紙しばいなど、いろいろな事が上手です。

私は、そんなお母さんを見て、小さい頃から「保育

市民リレーインタビュー
 走者 キャッチボール

No.32

萩原 久美子さんから紹介された



かもい ゆう
 鴨井 裕 さん
 (受付事務・岩船)

①自己紹介

家族5人で生活しています。2匹の愛犬ラブラドル・レトリバーとミニチュアダックスフンドを飼っています。休日は、友人と遊んで過ごすことが多いですね。

②今後チャレンジしたいこと

普通自動車の運転免許がないので、早く取得することが現在の目標です。

③これからのまちづくりに望むこと

動物が大好きなので、殺処分ゼロのまちを目指してほしいと思います。そのためにも、飼い主がいない動物を保護してくれる里親施設を作ってほしいと思います。

No.61